

2022年度 刈谷豊田東病院クリニカルインディケータ (CI)一覽

指標の概要		指標名	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月	2023年3月	合計	
●入院患者の転倒・転落発生率 入院中に転倒または転落した患者の割合です。 当院ではベッドから転落したり、つまずいて転んだりしないように周囲の環境を整え、評価と対策を行っています。	転倒転落発生率(‰)	分子	12	9	9	11	8	8	12	7	10	12	8	12	126	
	分子：転倒転落件数(件) 分母：入院延べ患者数(人)	分母	5,385	5,541	5,389	5,383	5,224	5,313	5,447	5,169	5,094	4,830	4,478	5,108	62,361	
		割合	2.23‰	1.62‰	1.67‰	2.04‰	1.53‰	1.51‰	2.20‰	1.35‰	1.96‰	2.48‰	1.79‰	2.35‰	2.02‰	
損傷レベル	損傷状態	分子	2	2	5	1	3	2	0	2	1	1	1	2	25	
6 UTD	記録からは測定不可能	うち損傷レベル2以上 分子：転倒転落数レベル2以上(件) 分母：入院延べ患者数(人)	分母	5,385	5,541	5,389	5,383	5,224	5,313	5,447	5,169	5,094	4,830	4,478	5,108	62,361
5 死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した。		割合	0.37‰	0.36‰	0.93‰	0.19‰	0.57‰	0.38‰	0.00‰	0.39‰	0.20‰	0.21‰	0.22‰	0.39‰	0.40‰
4 重度	手術、ギプス、牽引、骨折を招いた。(必要となった。)神経損傷・身体内部の損傷のため診察が必要となった。		分子	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4
3 中等度	縫合、ステリー・皮膚接着剤、副子が必要となった。または筋肉・関節の挫傷を招いた。	うち損傷レベル4以上 分子：転倒転落数レベル4以上(件) 分母：入院延べ患者数(人)	分母	5,385	5,541	5,389	5,383	5,224	5,313	5,447	5,169	5,094	4,830	4,478	5,108	62,361
2 軽度	包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった。あざ・擦り傷を招いた		割合	0.19‰	0.00‰	0.19‰	0.00‰	0.00‰	0.00‰	0.19‰	0.00‰	0.21‰	0.00‰	0.00‰	0.00‰	0.06‰
1 なし	患者に損傷はなかった															
●褥瘡発生率		褥瘡推定発生率(%) 分子：褥瘡有病患者数-持ち込み患者数(人) 分母：褥瘡有病率基準日の在院患者数(人)	分子	7	6	8	8	7	7	11	10	8	8	8	104	
褥瘡とは「床ずれ」とも言われ、寝たきりなどにより体重で圧迫されている部分の血流が悪くなることで皮膚が赤くなったり、傷ができてしまうことをいいます。褥瘡推定発生率は当院において新たに褥瘡が発生した患者の割合を示します。			分母	178	179	178	164	170	178	173	164	154	158	153	173	2,192
			割合	3.93%	3.35%	4.49%	4.88%	4.12%	3.93%	6.36%	6.10%	5.19%	5.06%	5.23%	5.20%	4.74%